

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
110
平成27年4月17日発行

もうすぐ入場ドキドキワクワク
(亀代小学校 入学式)



**徹底した子育て支援と
人に優しい町づくり**
～新年度予算を可決～

2～7ページ

8人が一般質問

15～23ページ

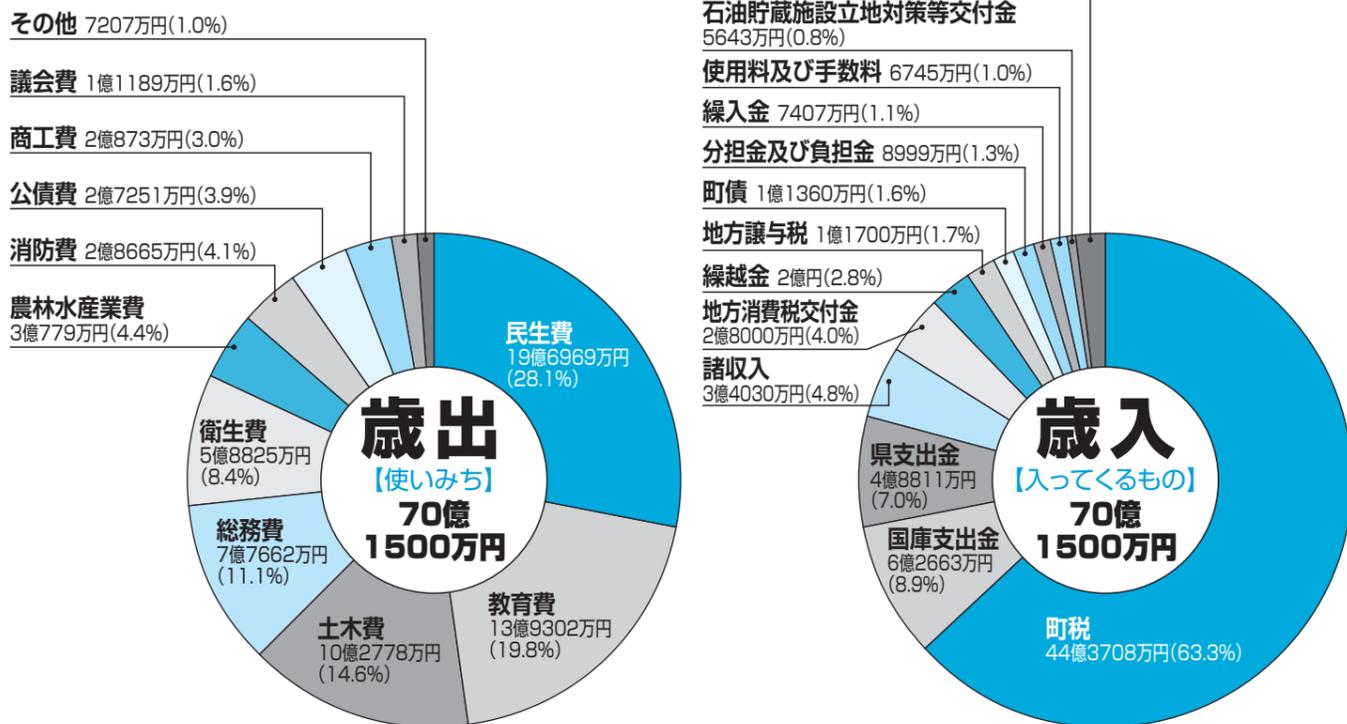
第17回追跡レポート

24ページ

徹底した子育て支援と人に優しい町づくり

3月定例会

一般会計予算の内訳



一般会計予算 70億1500万円 (前年度比2.3%増)

平成27年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ70億1500万円、前年度対比2.3%の増となっています。

歳入においては、全体の63.3%を占める町税は44億3708万円、前年度の45億464万円に対して6756万円、率にして1.5%の減となっています。アベノミクス効果による企業の設備投資や消費動向の好材料が見え始めていますが、町税の減少、特に固定資産税の減額という最優先課題は改善されていません。今後はより積極的な企業誘致を図り、将来に向けた安定した課税客体の確保に努めることを望みます。

歳出においては、保育所入所希望者増加に伴う私立保育園への業務委託料などの義務的経費と、社会資本総合整備交付金事業等による道路整備を

一般会計予算

中心とした投資的経費が大幅増となりました。しかし、継続的な経常経費の圧縮・削減で全般的には歳出抑制に努めています。子育て支援、インフラ整備など生活環境全般の向上と同時に、国の「まち・ひと・仕事創生総合戦略」を受けた地方版総合戦略の策定に早期に取り掛かり、いままです以上に安心して暮らせる豊かな町づくりを進めてもらうことを望みます。



▲答弁する執行部

【歳出】

民生費→高齢者・児童福祉など／教育費→学校、公民館、図書館など／土木費→道路・公園の維持・整備など／衛生費→保健事業、ごみ処理など／総務費→公害・交通安全対策、選挙など／公債費→町が借りたお金の返済／消防費→消防団活動、防災無線など

平成27年度 7会計総額

116億924万円
(対前年度比3.2%増)

- 一般会計 70億1500万円 (2.3%増)
- 国民健康保険特別会計 事業勘定 15億3605万円 (9.1%増) 施設勘定 1億3004万円 (10.5%減)
- 介護保険特別会計 12億5042万円 (12.9%増)
- 後期高齢者医療特別会計 7764万円 (0.7%増)
- 県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計 991万円 (0.5%減)
- 下水道事業会計 収益的支出 7億4843万円 (0.5%減) 資本的支出 3億9358万円 (4.3%減)
- 水道事業会計 収益的支出 2億6005万円 (2.8%減) 資本的支出 1億8813万円 (12.2%減)

【歳入】

町税→町に直接入るお金(固定資産税、町民税、軽自動車税など)／国庫支出金→国が出す補助金／県支出金→県が出す補助金／町債→税源不足による借入金／繰入金→特別会計や各種基金から繰り入れるお金

平成27年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算の7会計を、平成27年3月11日から16日にわたり、各会計及び各款ごとに慎重に審査を行いました。

第4次町総合計画の前期最終年度としての施策の実施や行財政改革の断行を要望しました。と同時に、町民の声を真摯に吸い上げ、町と町民の協働による町づくりを進める。そのための効果的な施策の構築を願うものです。

予算審査特別委員会

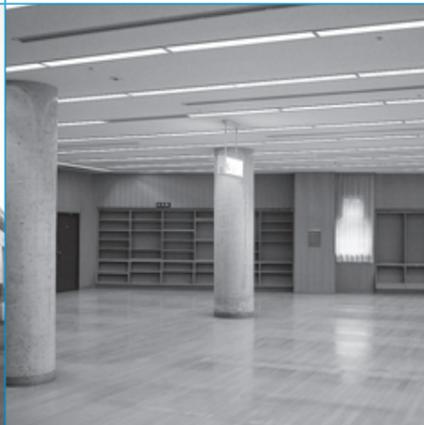
3月定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開かれました。新年度にあたって町長の施政方針表明があり、町長から提案された平成27年度一般会計予算、4特別会計予算、2事業会計予算のほか、平成26年度補正予算、条例の制定・変更・廃止などの37議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。

一般質問では8人の議員が、教育、防災、行財政改革・地方創生、産業の活性化など町政全般について、2日間にわたり厳しく問いただしました。



▲熱心な議論の予算審査特別委員会

平成27年度 新規・重点事業とQ&A

きめ細かい社会福祉 (高齢者支援、医療、福祉など)	生涯学習で豊かな心身 (生涯教育・文化とスポーツの振興)	町を活性化する産業 (商業、農業、漁業、観光など)
主な事業概要 ○特定入所者介護サービス等費 6030万円 ○子ども医療扶助費 4871万円 ○診療所医療器具等購入費(備品) 423万円 ○高齢者応援手当扶助費 1647万円	主な事業概要 ○亀代地区多目的屋内運動場改修工事(新規) 1073万円 ○マイクロバス購入費(新規) 620万円 ○旧図書館跡地改修工事(新規) 480万円 ○文化財調査等作業委託料 358万円	主な事業概要 ○多面的機能支払交付金事業補助金(新規) 3400万円 ○聖籠町宅地分譲地購入費補助金(新規) 566万円 ○真野畑かんがい施設整備事業補助金(新規) 255万円 ○海のにぎわい館を中心とした事業負担金 500万円
		
質 疑	質 疑	質 疑
<p>問 介護保険料が非常に高い。健康であれば施設も使わないし介護保険料も低くてすむ。全国先進地を見るなどして、町民一人一人に合った健康法を推進してはどうか。</p> <p>答 現在も一人一人に合わせた対応をするよう努めているが、先進事例を検討していきたい。</p>	<p>問 町内の老人クラブが団体数、会員共にどんどん減ってきている。山諏訪山集落にはクラブ自体がなく、二本松集落も解散すると聞いている。この原因の一つに老人クラブの補助金申請事務が面倒で細かいことがある。何とかならないか。</p> <p>答 補助金申請は町の基準に従っている。その基本は理解していただきたいので、今後各クラブの会長などに相談しながら検討したい。</p>	<p>問 多面的機能支払交付金事業補助金で3400万円が計上されているが、どのような補助金か。</p> <p>答 農道補修・いざらい等を行う農家組織への補助である。</p> <p>問 ざぶくんの利用料が値上げされるが、その前に経費削減努力が必要ではないか。受付を自動券売機にすれば人件費の削減になるが、どう考える。</p> <p>答 町の方から提案したい。</p>

充実した子育て支援 (こども園、小・中学校など)	安心して暮らせる生活環境 (防災・インフラ整備・環境美化など)
主な事業概要 ○山倉児童クラブ建設工事(新規) 3900万円 ○山倉小学校消雪井戸設置工事(新規) 673万円 ○こども園バス待合所などの設備工事(新規) 385万円 ○小・中学校非常勤講師9名の賃金 3463万円 ○就学援助と学力の向上などの教育振興費 869万円	主な事業概要 ○生ごみ堆肥化施設管理運営業務委託料(新規) 1630万円 ○空き家等意向調査業務委託料(新規) 200万円 ○道路整備業務委託料 2930万円 ○消雪施設地質調査・設計業務委託料 860万円 ○住宅用太陽光発電システム設置事業補助金 400万円
	
質 疑	質 疑
<p>問 小学校の放課後児童クラブ・学習クラブの講師謝礼を主とした教育研究会等への報償費が約400万円計上されている。平成26年度予算でもほぼ同額が計上されたが、最終的に年度末に大幅な減額補正された。こと教育に関しては予算が余るということは子どもたちにとって不利益と考えるが、平成27年度は適正に予算執行できるのか。</p> <p>答 平成26年度はインフルエンザの流行のために児童クラブを休会した日が数日あり、またアシスタントの確保が計画通りに進まなかったなどの理由で減額補正となった。平成27年度は計画どおり運営したいと考えている。</p>	<p>問 消雪パイプ設備工事費が6300万円計上されているが、消雪パイプの設置基準と優先順位はどうなっているのか。</p> <p>答 5年計画で進めている。基準の第一は当該道路の公共性である。町内の主な幹線道路は終了したので、今後は集落内の狭い道路を進めていきたい。基本的には集落から要望が挙がった順番で計画を立てていく。</p> <p>問 循環バス事業を民間委託し1年経過したが、予算は委託前とほとんど変わらずその効果が見られない。現在はコモタウンまで運行しているが、これを県立新発田病院まで延ばすなど、路線の見直しや工夫をしたらどうか。</p> <p>答 現在、循環バスは主に高校生が利用している。他のバス路線との兼ね合いもあるが、検討はしてみたい。</p>

東港工業地帯での地域産業の活性化に期待



たかはし ゆきひろ
高橋 裕吉 さん
(山諏訪山)

新潟東港は平成23年に日本海側拠点港に選定され、ロシア・中国等の近隣諸国との物流拠点ももちろん、災害時には太平洋側の防災・救援の拠点としても期待されています。

新潟県や新潟市は機能面の弱体化を強化するた

めに、公共交通の充実化に取り組みが進んでいます。聖籠町としては企業立地の促進とエネルギー戦略特区構想の提案で具体的実施には至っていません。今後、地域産業の活

新発田市から嫁いできて20年。おかげさまで4人の子も達も健やかに育ち、大家族で楽しい毎日を送っています。聖籠の魅力は何といっても幼稚園の無料化を始めとした充実した子育て支援です。新発田の友人からうらやましいと言われることも多いです。

今、小3の次男がサッカーに夢中なんです。練習場の確保が大変なところがありません。蓮野学区なら藤寄体育館のグラウンドを、人工芝とは言いませんが整備してもらいたいなあ〜なんて思います。藤寄体育館育ちのJリーガー、なんて夢も良くないですか？

未来のJリーガーを



かんだ りか さん
神田 りか さん
(別條)

私が子どものころの聖籠町(当時は村)では、田んぼの用排水路は現在のようにコンクリート製ではなく、土でできていました。土の小川は、メダカ・フナ・ドジョウ・ナマズなど川魚がたくさんすんでいて、子どもたちの格好の遊び場でした。

今でも、当時の楽しかった魚捕りのことを思い出します。子どもたちが泥だらけになり無心になって遊ぶことは、自然環境を大切にすることを育て、豊かな想像力や発想力の基になると思います。小川の再生を望んでいます。

小川の再生を



みやの たかお
宮野 孝男 さん
(本三賀)

子どもは町の宝



ほんま たけし
本間 剛 さん
(藤寄)

わが聖籠町は、自主財源で多岐にわたる施策が実行できるので一町民としてもありがたく思っています。町の70億円余の一般会計の用途については、ハード面は充実しすぎているので、より多くソフト面

に重点配分してもらいたいと思います。とりわけ、次代を担う子育て支援については、貧困の連鎖を生まないためにも不可欠であると考えます。昨今、残忍な事件が散見されますが、町内の児童通学路や公園に「防犯

カメラの設置」を要望します。併せて、藤寄く杉谷内線の「まごころ保育園東港」前の道路は、安全重視の観点から40キロ制限にしてもらいたいと思います。

町の声 ~予算への思いを聞く~

聖籠町は一般会計と4つの特別会計、2つの事業会計を合わせて、毎年110億円を超える予算を使っています。そこで、町民の皆さまに町や議会に対する予算の使い方について、考え方や要望などを聞いてみました。

年齢、職業、お住まいの地域などによって、いろいろな意見があると思います。今後、議会としても皆さまの声を反映できるよう、町へ働き掛けていきたいと思っています。

海洋観光の取り組みを



ほり つねゆう
堀 常勇 さん
(網代浜)

聖籠町には立派な海があります。特に網代浜海岸は新潟国体で十分に整備され、素晴らしい日本のロケーションとなっています。交流施設「海のにぎわい館」もでき、サーファー、釣客、海水浴客が利用しています。夏には花火大会やマリ

ンフェスタ等の催しがあり、県外客も増えてきました。しかしながら、これらは夏前後の一定時期だけです。一年を通して皆さんに来町していただくため、官民が一体となって観光物産店や海洋自然釣堀等の検討も必要だと思っています。

町政に期待をもって



わたなべ あや
渡辺 彩 さん
(次第浜)

安全で安心な環境の中で、心豊かに暮らすことを望まない人はいません。より快適な生活を求めて医療・保険・介護等を含めた社会福祉制度やサービスの充実、子育てや教育に関わる保障や支援等、町民個々のニーズは、多種多様となります。これら町民ニーズを財源に反映し、適正かつ有

効に執行するのが町政の責務です。今年度は、第4次聖籠町総合計画前期の最終年度であり、過去の実施事業の実績と成果をもって、財政運営が問われる年と言えます。町の将来像に向けグローバル化を視野に入れ、後期計画につながる足場づくりが図れるような町政の遂行に期待しています。

可決した 主な議案

- 小規模企業振興基本条例の制定
- 特別職の給与、議員報酬等の一部改正
- 長寿祝金の一部改正
- 介護保険の一部改正
- 観音の湯ざぶくん館条例の一部改正
- 水道事業給水条例の一部改正
- 教育長の任命

小規模企業振興基本 条例の制定

国の小規模企業振興基本法が公布され、地方公共団体の責務が明記されました。町の責務等を明らかにすることで小規模企業の振興に関する施策を計画的に推進し、小規模企業の成長発展などに寄与する条例です。

主な質疑

**町の小規模企業
の数は**

〔小川益一郎議員〕 条例に小規模企業の定義を盛り込むべきだったと思う。

が、町内に何社あるのか。
約400社前後

〔産業観光課長〕 町内の小規模企業は約400社前後である。

**基本計画の策定
時期は**

〔宮沢光子議員〕 この条例では、町内の小規模企業の振興に対する町行政の施策が計画される。基本計画の策定時期が未定だということでは絵に描いた餅のような条例に思えるが、どう考えている。

**時間をかけて計
画策定したい**

〔産業観光課長〕 初めての条例なので、基本計画について、町に即したものにするために関係機関と慎重に協議をして計画を策定したい。

採決 起立全員で可決

特別職の職員の給与及び議会議員の 報酬等に関する条例の一部改正

特別職報酬等審議会から平成26年12月に特別職等の報酬改定について答申が出されました。1・5%程度引き上げすべきという答申でした。答申を受け、町長、副町長、教育長の給与、議員の報酬を一律3千円引き上げる改正です。

主な質疑

**なぜ今の時期に
引き上げするか**

〔中村恵美子議員〕 町民全体の経済状況を考える

と引き上げするという事は考えられない。今、経済状態が苦しい時になぜ引き上げなのか。

**審議会の答申を
尊重**

〔町長〕 特別職の給与を引き上げることについては、町民感情を考えるとためらいはあったが、毎年、真摯に議論し答申を出してくれる審議会の答申を尊重した。金額3千円の根拠は議員の報酬を基準にした。

**付帯事項の筆記
はなかった**

〔町長〕 今回の答申の中には付帯事項はなかった。〔総務課長〕 審議会では、据え置きには3人。他の委員7人は引き上げが妥当だという意見であった。

**審議会の意見は
全員一致か**

〔五十嵐利栄議員〕 特別職報酬等審議会の各委員の意見はどのようなものであったか。

**討
論**

〔反対〕 中村恵美子議員 平成26年4月に消費税が上ががり、町民の生活は苦しい。3千円であろうと引き上げに反対。

〔賛成〕 青木順議員 審議会の答申を真摯に受け止め、議員報酬を引き上げる事で若い世代が町政に関心をもつ事を願う。

〔賛成〕 田中智之議員 審議会の答申は、状況に十分配慮したものだ。給料の上昇はひいては経済の高循環につながる。よって賛成だ。

採決 賛成11 反対1で可決

長寿祝金支給条例の 一部改正

町の福祉施策全般について、見直しを考える時期にきているので長寿祝金の支給対象者と金額を一部改正します。

支給対象者は、毎年9月1日現在で90歳以上の高齢者は変わりません。しかし、施設入所者を対象外とします。長寿祝金については、100歳以上10万円支給をやめて、95歳以上5万円支給とします。

主な質疑

**高齢者に畏敬の
念はないのか**

〔小川益一郎議員〕 施設入所者を除外することは、聖籠町の町づくりに貢献してきた町民に畏敬の念がないということではないか。100歳になると町から長寿祝金がもらえる心待ちにしている高齢者もいる。今回、金額を見直すことでこのくらいの減額になるのか。

**長寿の方々には
敬意を表する**

〔町長〕 近年、町内には、高齢者施設が増えた。国

討 論

〔反対〕 中村恵美子議員 長寿祝金を楽しみにしている高齢者は多い。施設入所者も同じである。

採決 賛成8 反対4で可決

介護保険条例の一部 改正

介護保険制度の第6期事業計画に伴う保険料の改正です。改正される年額保険料は左の表のとおりです。(4月1日施行)

改正前		改正後	
第1段階	34,080円	第1段階	38,400円
第2段階	34,080円	第2段階	57,600円
第3段階	51,120円	第3段階	57,600円
第4段階	68,160円	第4段階	69,120円
第5段階	85,200円	第5段階	76,800円
第6段階	102,240円	第6段階	92,160円
		第7段階	99,840円
		第8段階	115,200円
		第9段階	130,560円

採決 起立全員で可決

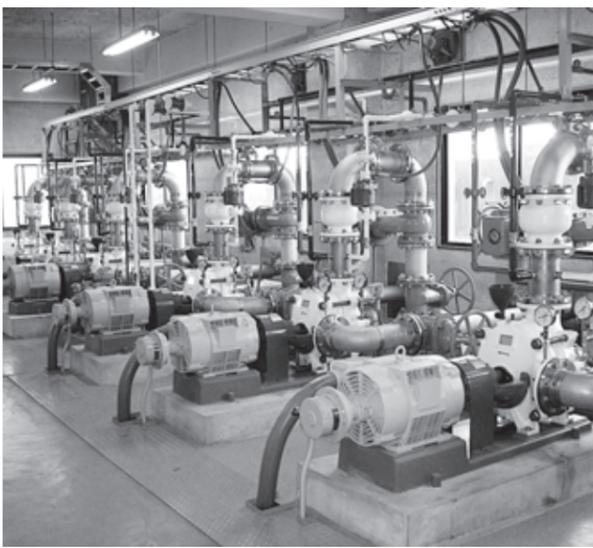


▲年に一度の楽しみ 敬老会

観音の湯ざぶくん館 条例の一部改正

消費税が8%に引き上げられても、ざぶくん館の利用料を上げませんでした。維持管理経費等の増額に考慮し、入館料を見直します。大人、小人、町内、町外利用者、

一律50円値上げします。
(7月1日施行)
採決 起立全員で可決



▲安全な上水道の供給源

水道事業給水条例の 一部改正

水の仕入れ値を安くできるか

主な質疑

水道の創設時施設が30年以上経過し老朽化しています。水道管等の更新費用の確保が難しいため、水道料金の値上げをします。
基本料金は(10立方メートルまで)5%、水量料金は(10立方メートルを超えた水量)1立方メートル当たり10円増の改正です。(7月1日施行)

企業団設立時の協議を順守

基本的に入水料などは現状維持でいく。昭和58年から町は上水

採決 賛成11 反対1で可決

道に切り替えているが、当初からの計画水量が有効に使われていないのが課題である。今後、水道水が病院等の施設や企業によって増えていく施策等を考える。

施政方針表明



わたなべ 渡邊町長

- 予定価格・最低制限価格の公表
- 4月から新体制の教育長
- 生ごみ堆肥化施設をNPO法人に委託

平成27年度予算編成の基本的な考え方は、町単独の社会保障をはじめ、義務的経費を含めた全ての分野の事業予算を見直すことにしました。

低制限価格の公表(事後)を実施します。

▼本町でも4月1日から新体制による教育行政を行いたいと考えています。新体制の教育長は町長が議会の同意を得て任命する特別職となります。

▼公共工事の入札および契約については、より一層の適正化を図るため、4月1日より施行される「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」に基づき、予定価格および最

また、町長が「総合教育会議」を設置して、教育に関する「大綱」を教育委員と協議・調整を図って策定し、この大綱に基づいて教育行政を執行し

ていきますので、教育行政の責任体制がより明確化されることとなります。
▼前期基本計画が平成27年度をもって終了することに伴い、各分野の事業進捗状況や既存計画の見直しを図り、後期基本計画(平成32年度まで)を今年度中に策定します。
▼今年度からは、生ごみ堆肥化施設の管理運営をNPO法人環境美化ネットワークに委託することになります。
▼企業誘致および既立地企業の設置投資ならびに町民雇用の推進を図るため、企業にとって魅力となる新たな優遇制度に向け、検討を重ねてまいります。
▼教育については、9年間の小中一貫教育を超えて、12年間の幼・小・中の一貫教育を構想しました。そのため、町の単独事業として、12人の講師、37人の介助員、4人の学校図書館司書、生徒指導アドバイザーを配置します。

聖籠町選挙管理委員会 および同補充員決まる

3月17日の本会議において、平成27年5月29日をもって任期満了となる聖籠町選挙管理委員会および同補充員の選挙が行われました。

任期満了に伴う、

新たな聖籠町選挙管理委員会および同補充員の選挙は、指名推薦により議長が指名し、全会一致で当選が決定しました。

選挙管理委員

長谷川進一さん
(聖中ヶ丘)

高橋藤壽春さん
(次第浜)

布施 敏勝さん
(二本松)

宮澤 厚子さん
(網代浜)

選挙管理委員補充員

松木 洋三さん(第1順位)

小林 友子さん(第2順位)

高松 幹雄さん(第3順位)

久住 悟さん(第4順位)

教育長に 伊藤順治さん



いとう じゅんじ 伊藤 順治さん

国の法律の改正に伴い、平成27年4月1日より新たな教育委員会制度の新教育長として、現教育長の伊藤順治さんを任命することに全会一致で同意しました。教育長は、この制度改正により町の特別職となります。任期は3年です。

教育委員に 根津慶幸さん(再任)



ねつ よしゆき 根津 慶幸さん

平成27年3月31日をもって任期満了になる根津慶幸さんを引き続き任命することに全会一致で同意しました。任期は4年です。

選挙管理委員会



委員 としはる 高橋 藤壽春さん



委員 はせがわ しんいち 長谷川 進一さん



委員 みやざわ あつこ 宮澤 厚子さん



委員 ふせ としかつ 布施 敏勝さん



▲7月から実施予定の活性化対策事業

【中村恵美子議員】 調理員が所在する職場で、パワーハラスメントがあったため、臨時職員が退職したという話を聞いている。事実パワーハラスメントが

これから検討する

【総務課長】 国から議会の意見も聞くようにつとめていくが、具体的にはこれから検討する。

情報も提供し提言も受ける

【町長】 議会から要請があれば情報を提供し、提言があれば受けていく。

具体的な実施要領は

【五十嵐利栄議員】 地域活性化対策事業の具体的な実施要領をどう考えている。

具体的な何をやるのか

【宮沢光子議員】 総合戦略策定調査は具体的にどのような業務を行うのか。

人口問題などを調査

【総務課長】 人口の現状、将来見込み、産業構造、結婚、子育て、観光などを調査分析し策定する予定。委員会も15人くらいで5月ごろ初会議を予定している。

具体的な何をやるのか

【小川益一郎議員】 総合戦略策定に関し、担当大臣から議会に対しても、戦略の策定・推進・効果検証などについて十分議論願うと要請文が来ている。具体的にはどう関わるのか。

議会はどう関わるのか

【五十嵐利栄議員】 消費税率アップがもたらす影響は、既定予算から歳入歳出それぞれ1941万円を減額し、総額71億1137万円と定める予算を全会一致で可決しました。

消費税アップがもたらす影響

【税務財政課長】 消費税率アップがもたらす影響は、既定予算から歳入歳出それぞれ1941万円を減額し、総額71億1137万円と定める予算を全会一致で可決しました。

地方創生先行型補助金は何に使うのか

【五十嵐利栄議員】 地方創生先行型補助金は、町として具体的な使用方法をどう考えている。

新規就農者何人か

【五十嵐利栄議員】 新規就農支援375万円計上されているが、この金額の根拠は、



▲地方創生 雨よけハウス事業

【産業観光課長】 新規就農支援は1人年間150万円支給し、条件が満たされれば5年間継続できる。今回は平成27年度分1人当たり150万円の2分の1(75万円)で5人分を計上した。

雨よけハウス対策を

【産業観光課長】 今回は雨よけハウス事業に活用する。対象者は8人、総事業費2050万円で、777万円補助。築12年以上の更新と新設を対象とを考えている。

年間支給の2分の1で5人分を計上

【産業観光課長】 新規就農支援は1人年間150万円支給し、条件が満たされれば5年間継続できる。今回は平成27年度分1人当たり150万円の2分の1(75万円)で5人分を計上した。

消費税アップがもたらす影響

【税務財政課長】 消費税率アップがもたらす影響は、既定予算から歳入歳出それぞれ1941万円を減額し、総額71億1137万円と定める予算を全会一致で可決しました。

地域活性化対策事業補助金を承認 一般会計補正予算

歳入	
■法人町民税	6039万円
■地方消費税交付金	4154万円減額
■地域消費喚起・生活支援型交付金	820万円
■地方創生先行型交付金	1492万円
歳出	
■地域活性化対策事業補助金	2460万円
■農林水産振興事業 (地方創生先行型) 補助金	777万円
■総合戦略策定調査業務委託料	810万円
■経営安定対策支援補助金	680万円



▲高級自動車の売上も大幅減少

読者の声



富樫ひとみさん
(杉谷内)

町に望むこと

聖籠町で生まれ結婚後も、この町に住んで子育てしやすい環境だなど、あらためて感じることが多い町です。

町立こども園の保育料が無料というのは、近隣の新潟田市や新潟市の友人から、とてもうらやましがられることの一つです。

子どもが一人二人と増えれば、いろいろな面でお金がかかるというのが現実です。これからこの取り組みを長期的に続けていってほしいと思います。

また任意の予防接種助成金制度に関しても、とても感謝しています。

風疹が流行していた時にも、他の市町村より早く接種を希望する妊婦やその配偶者に、助成金制度を設けて対応していただき、大変助かりました。

これから望むこととしては、病児保育を行う施設があると良いなと感じます。

新しく建設予定の病院内に、病児施設ができること耳にしましたが、それまでのつなぎとして、どこか受け入れ施設があると大変助かります。

核家族が増え、近くに祖父母がいない家庭もたくさんあると思います。

共働きが多くなってきているので、子どもの具合が悪くても仕事を休めない時に、病児保育の施設があると、助かる家庭がたくさんあると思います。

今まで以上に町に期待します。



一般質問 町政を問う

- 3月議会では、8議員から町政を問う一般質問がありました。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、5月末に町ホームページに掲載される予定です。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。

8議員が質問

<p>五十嵐 利栄 議員 P16</p> <p>1 大丈夫か防災・安全対策</p> <p>2 幾らアップか介護保険料</p>	<p>堀 常正 議員 P21</p> <p>1 どうなった要請決議書</p> <p>2 学校と社会教育課の連携を</p>	<p>田中 智之 議員 P20</p> <p>1 ふるさと納税に独自性を</p> <p>2 特別支援学級に放課後支援を</p>	<p>宮沢 光子 議員 P17</p> <p>1 生かせるか総合教育会議</p> <p>2 どうする町行政の民間委託</p>	<p>中村 恵美子 議員 P19</p> <p>1 地方創生では再生できない</p> <p>2 新国保制度で国保税は</p>	<p>桜井 怜 議員 P18</p> <p>1 女性管理職の登用どうする</p>	<p>青木 順 議員 P22</p> <p>1 ふるさと納税拡充せよ</p>	<p>小川 益一郎 議員 P23</p> <p>1 理解得られるか分譲宅地補助金</p> <p>2 長寿祝金大幅減額</p> <p>3 加治川河川敷利用・県から交付金は その他の質問(1問)</p>
-----------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	-----------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

みなさんの 請願・陳情

第1回定例会では地域住民より直接の声となります。請願1件を審査し、全会一致で採択しました。

採択した請願

◎農協改革をはじめとした「農業改革」に関する請願

〔提出者〕 農民運動新潟県連合会 代表者 鶴巻 純一
新潟県農協労働組合連合会 代表者 岡崎 敦
〔紹介議員〕 宮沢 光子・小川益一郎

意見書を国に提出

第1回定例会で1件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎農協改革をはじめとした「農業改革」に関する意見書

自治功労者に対し 全国町村議会議長会より表彰



堀 常正議員

議会議員として多年にわたり、町の地方自治振興ならびに議会機能向上に貢献され功績のあった議員として、全国町村議会議長会から堀常正議員が表彰されました。



五十嵐 利栄議員

大丈夫か防災・安全対策

町長 自覚・責務を向上させる

問 (1)2月13日未明、真野地区で発生した火災で得た教訓を、今後どう生かすか。

①防災無線のみの連絡で、全消防団に対し出動指令が徹底できるか。

②水漏れが激しいホースが現場で見られた。日頃の管理指導の徹底が必要でないか。

③火点に近い「防火井戸」が、使用できなかったがなぜか。

④通常、冬場は防火井戸として使用している「新用水」が加治川頭首工の工事で水がないため、防火井戸の機能が果たせなかった。対応策は。

⑤丸瀧集落のことも園バ又待合所が、突風で吹き飛ばされた。園児がいれば



▲消火活動の機能を果たすか防火井戸

は重大事故にもつながりかねない。原因と対策そして他の待合所の点検は行ったか。

町長 ①火災発生時、全分団の出動が原則で、消防団員としての自覚・責務を教育訓練している。

②定期的に通水し、点検を実施する。

③消火栓を優先使用する。水利が他にない場合など

に、防火井戸を使用する。

④今年と来年は加治川第2頭首工の工事で、冬期間通水できない。

教育長 ②丸瀧のバス待合所が吹き飛ばされた原因は、設置35年経過し、基礎部分が腐食していた。構造的にも問題あった。今後、全ての待合所の点検を行う。

町長 ①介護報酬2・27%引き下げで、町内介護施設の経営は大丈夫か。

②従業員の賃金1万2千円アップのチェックは可能か。

③介護報酬2・27%引き下げで、第6期保険料アップを、どのくらい抑えられたか。

④最終的に第6期介護保険料は幾らに設定したか。

⑤第6期の応援手当はどう設定したか。

町長 ①厳しい状況だが、経営は維持できる。

②介護職員の処遇改善の計画書提出と、実績報告が必要なので、チェックできる。

③月額約2000円の軽減となる。

④第6期介護保険料は、現行5680円より7200円アップの6400円となる。なお介護保険は現行1〜6段階に対して、1〜9段階となる。(所得区分による。)

⑤応援手当は、基本的に平成26年度と同じ考えで予算設定した。

幾らアップか介護保険料

町長 720円アップの6400円

生かせるか総合教育会議

町長 総合教育会議を公開する

問 平成27年4月1日から教育委員会制度が大きく変わる。

今回の改革では、自治体の首長は、総合教育会議を開催する。教育行政について教育委員会と協議し、教育振興に係る基本的な方針「大綱」も策定しなければならない。

マスコミでは、首長の意向が教育に色濃く反映されて、教育委員会の中立性を保持できるか危惧する声がある。

総合教育会議の開催はいつになるのか。会議は

公開することが原則であり、教育政策等について、首長の説明責任も生じることが、どう考えているか。

教育委員長と教育長を一本化し、新教育長とする事も改革の一つである。新教育長は自治体の特別職となり、教育長の権限と責任は今まで以上に大きくなる。しかし、この改革を契機に今まで以上に各教育委員には活発な議論をしてもらい、首長との総合教育会議に臨まなければ教育委員会は変わらぬのではないか。

町長 従来の教育委員会制度の諸問題を解消するため、今回の法改正になった。新教育長は特別職になる。首長が直接任命し議会の同意を得ること、首長としての任命責任が明確化される制度改革である。

総合教育会議は原則公開する。委員構成は町の教育委員を含め、広く意見を吸い上げる意味で15人前後と計画している。

教育長 総合教育会議の中では、首長と教育委員会は対等な関係であるとの法的に位置づけられている。これまでも、首長との懇談会を通して教育行政の予算を理解してもらっているが、さらに総合教育会議等で協議する。

どうする町行政の民間委託

町長 行財政改革の一環

問 近年、町行政の各分野で民間委託、民営化、指定管理者制度等が強く進んでいる。今後、町の大きな施設(こども園、図書館、診療所等)について、民間委託等をどう考えているか。

町長 第4次行政改革大綱に民間への移行が望ましいものは切り替えを検討と明記しているが、慎重な対応が必要である。例として、診療所の医師が6月末で退職する。しかし、地域医療の現状から、民間委託はせず後任の医師を確保し今後も継続した対応をする。



宮沢 光子議員



▲心身ともに大きくなあれ



中村 恵美子議員

問 安倍政権の地方創生が掲げる集約化とは、公施設や行政サービスを拠点となる中心自治体に統廃合することである。身近な住民サービスの低下と周辺部の切り捨てを進める地方創生では、地方の創生はできないと思う。

町長 国と地方が適切な役割分担で、政策の効果検証や改善を行うPDCAサイクル、いわゆる計画、実施、評価、改善である。そして、持続的な改善を推進するマネジメントの手法を確立し、継続的に地域の活性化事業に取り組むことが地方創生に向けた最善の策である。



▲期待される地方の活性化

問 ①広域の市町村の国保料、税は国保連合会にどれだけの出しを求められるかに左右される。本町の保険税はどうなるか。聖籠町は、平成26年6月1日現在で国保世帯1745世帯のうち、滞納世帯は138世帯である。短期証交付世帯数は13世帯、資格証交付世帯数は24世帯である。国民健康保険を持続可能な医療制度にするための根本的な改革としては、国庫負担増で国保料・税を引き下げる、低所得者の負担減免制度の構築、窓口負担の2割への引き下げなどがあるが町長の考えは。

町長 ①県は市町村ごとの医療水準、所得水準を考慮した分賦金決定し、自治体が徴収し、県に納めるので上がらない。平成27年度は、2割5割の軽減対象が引き上げられる。後期高齢者医療制度が開始された平成20年度以降70歳から74歳まで医療費一部負担の2割を1割にしてきた。平成26年4月から、新たに70歳になった人から2割にしたので2割への引き下げは無理。②ごみ出しのボランティアについては、第1段階は集落や地域での助け合いや支え合いが大事と考える。

町長 地域活性化事業で 地方創生では再生できない

女性管理職の登用どうする

町長 全体の30%以上



桜井 怜議員

問 安倍首相は女性の輝く社会として、自治体や企業に指導的立場に位置する女性の登用目標を、30%以上とすることを求める考えである。自治体や企業も、女性の登用に関する意識が変わってきた。

先般も、新聞に新潟市の幹部職員の人事が載っていたが、部長級に多くの女性登用が見られた。今後は、女性の目から見た考え方の住民サービスが必要でないか。仕事と家庭を両立しながら、責任ある仕事を果たしてきた経験を生かす女性の意識が反映される。そのことでより良い住民サービスができるのではないか。女性の管理職の登用を

どのように考えているか。女性の指導的立場の職について、割合で表わすとどれくらいがよいと考えているか。**町長** 町でも、この目標値となるよう、従来の人事慣行を見直している。職務経験を通じたキャリア形成や、人事交流、研修の充実などを通じて人材の育成活用を図っている。女性の指導的立場の職については、国における目標値である30%以上と考えている。

なお、今年度における女性管理職の割合は、部局を問わない町全体とした場合は、21.7%となっている。教育部門に対する、専門職の教諭や保育士などのウエイトが大きくなっている。ただ、町長部局の中の一般事務分野においては、経験年数を踏んできた年齢層に、適任者がいない事実もある。今後は、能力や経験な

どを積んでいる女性については、前向きな取り組みをしていきたい。



▲待たれる女性管理職

新国保制度で 国保税は

町長 保険税は上がらない

収納対策は行政が貧困に苦しむ人を見つけ出し、親身に相談に乗り、減免措置や福祉制度を適用していく窓口にするべきでないか。②本町でもお年寄り一人世帯が増えている。ごみステーションにごみを出すボランティアを組織すべきでないか。



堀 常正議員

問 町では固定資産税の低減状況が改善されず、しばらくは厳しい財政運営が続くのは確かである。そんな中、古くなった発電所の更新は住民の安全、安心の確保と地域経済の活性化に寄与し、町の行政運用にも重要な事項である。昨年3月に東北電力東新潟火力発電所港1号機および2号機の次世代コンバインドサイクル発電への更新整備に関する要請決議書を議会に可決した。

あれから1年経過したが、町の取り組みや電力会社への働き掛けはどのようになっているのか。電力業界を取り巻く環境は厳しく、設備投資はおろかランニングコスト削減による工事量低下により、電力関連企業や下請会社の収支がかなり圧迫されることも考えられる。税込通減も含め、町はどう考えるか。

町長 電力役員の訪問時には早期の取り組みを要請している。東北電力としても今後の国の電力

システム改革に合わせ、さまざまな生き残りをかけた戦略を示してくるものと思う。その観点から、一、二年はすぐにその方向性や方針を示す段階ではなく、3年ないし4年、私の任期中にある程度の方針が確認できる時期が来ることを期待する。競争の激化に伴い経営

が圧迫される企業も発生することは否めない。このような事態に備え、町の融資制度の周知と利用を図っていく。税金に関しては東港立地企業に新たな工場立地等を政策的に進め、安定的な確保に努めていく。

どうなった要請決議書

町長 任期中の方針確認を期待



▲更新が待たれる港1号・2号機

学校と社会教育課の連携を

町長 連携し健全育成を図る

問 スポーツに関しては、学校と社会教育課との連携や交流がしっかりされていない。今後の子ども健全育成には学校内だけの取り組みだけでなく、社会教育課との共同取り組みや連携も必要でないか。

町長 社会教育事業や学校教育との連携だけでなく町ぐるみで子どもの健全育成に取り組む。**教育長** 社会教育課との連携を一層図り、子どもたちの健全育成に寄与できる事業を企画する。

ふるさと納税に独自性を

町長 早い機会に対応を考えたい

問 「ふるさと納税」が全国的にブームになっている。もともとは地方間の税収格差是正を目的とした制度だが、多くの自治体が寄附のお礼に特産品を贈るようになり、いまや寄附金が町の税収を上回る自治体もある。これは自治体にとっては歳入の増加、納税者にとっては特典がもらえるという双方にメリットがある制度だ。県は来年度からお礼の充実を図る。今後、本町も町が誇る農産物をお礼にし、寄附金の増加、産業の活性化、そして、寄附してくれた方々に故郷とのつながりを感じてもらおう等の目的で「ふるさと納税」を活用したらどうか。

町長 お礼を当てにしている寄附行為は、場合によっては一過性となる可能性がある。この制度は、制度として持続性はあっても基本的には目的別の寄附を求めたい。特産品や果物をお礼にするには、数量が十分確保できるか等の課題が生ずるが、さらに検討を加速させながら、早い機会に制度設計をしたい。



田中 智之議員

特別支援学級に放課後支援を

教育長 ニーズを把握段階だ

問 町内3小学校には放課後児童クラブが開設されている。また2014年度から各小学校区に、新しい専用施設が順次建設されることになった。しかし、残念なことこ

の事業には特別支援学級の児童が対象に入っていない。本来、より支援を必要と思われる児童が利用できるのは聖籠町子ども条例の「多様な保育需要に応じた保育サービ



▲新しくなった放課後児童クラブ（蓮野）

スの充実」にそぐわないのではないかと。特別支援学級の児童に対する放課後支援を、どのように考えているか。**教育長** 予算・設備等の問題から、現状では特別支援学級在籍児童の受け入れ体制は整っていない。しかし、国の施策等でも可能な限り児童を受け入れることが求められている。今後、保護者や学校の先生からも情報収集し、適切な環境で受け入れられるように施設設備や職員体制等を検討する。それに向け、現在特別支援学級に在籍する児童を対象としたアンケートを実施し、ニーズ等を把握している段階だ。



小川 益一郎議員

問 旧役場跡地3千平方メートルを分譲し、1区画約56坪を10区画分譲販売する。1坪9万円から9万2千円である。

補助金を受けるには、町内の登録業者と契約する等の条件があり、購入価格の20%（約100万円）の補助金が交付される。

この分譲宅地事業への投資は土地改良区への移転新築費1800万円の補助も含め、約7500万円もの町税が使われている。

販売収入は5千万円程度となり、赤字額は2千万円以上となる。

他の分譲宅地への補助やバランスをどう考える。

町長 町宅地分譲地購入費補助事業は、町内の建設業者を利用して建築を行った分譲地購入者への助成という限定的なものである。

分譲地の販売促進は、地域経済の活性化、特に町内の指定建築業者の振興を目的としている。

一般の住宅分譲地の販売に適用する考えはない。

長寿祝金大幅減額

町長 高齢者全体の生活支援へ

問 長年聖籠町の礎を築いてこられた高齢者に、長寿祝金を支給してきたが、平成27年度から90歳から94歳までは今までと変わらず3万円、95歳からは7万円が5万円となり、100歳以上10万円も5万円となる。

また介護保険法・老人福祉法に基づく施設入所者は除外するとした。

90歳まで町のために頑



▲補助金が生きるか宅地分譲

問 長年聖籠町の礎を築いてこられた高齢者に、長寿祝金を支給してきたが、平成27年度から90歳から94歳までは今までと変わらず3万円、95歳からは7万円が5万円となり、100歳以上10万円も5万円となる。

また介護保険法・老人福祉法に基づく施設入所者は除外するとした。

90歳まで町のために頑

加治川河川敷利用・県から交付金は加治川河川敷利用・県から交付金は

町長 交付金の対象とならない

張ってこられた方で施設入所するとゼロとなり、他町村から転入し町に6カ月以上在住すると該当し長寿祝金の受給者となる。不合理も甚だしい。

町長 敬老会事業の充実や金婚夫婦へのお祝い事業、高齢者応援手当など高齢者全体の生活支援へシフトするなど高齢者サービスへとトータル的な見地に立って見直した。

問 加治川河川敷を企業が他の土地と同様の利用している。

国有資産等所在市町村交付金の対象とならないか。

総務省の見解としては、当該土地の実態が実質上河川敷でない場合は、市

その他の質問

問 「財界にいがた」提訴は町長の名義のため、しかるべき対応を。

町長 私的なことであり議会で答弁する内容ではない。

ふるさと納税拡充せよ

町長 議論を加速し対応を図る



青木 順議員

問 平成20年5月から始まったふるさと納税制度だが、生まれ故郷や、応援したい自治体の政策などに直接寄附できるという制度である。また、寄附することによって住民税や、所得税の控除が受けられる。

町においては、平成20年から25年でトータル16件、約130万円ほどのふるさと納税をいただいている。

平成26年1月から12月までのふるさと納税市町村トップは、長崎県平戸市で12億円を超えたそうである。

聖籠町の基幹産業は農業である。

一部の農家との会話の中

でもあったが、ふるさと納税は町にとってチャレンスである。

寄附してもらったお礼に、現在は町の広報紙などを送って町をアピールしている。

こうした取り組みの中で、一度に多くの量をお礼に出すのは難しいと思うが、町農産物を試食程度でも送って食べてもらえばきっと喜ばれる。

天候や社会情勢に非常に左右され、農家は厳しい時期にきている。ぜひとも魅力ある農業を確立するために、この制度を生かし、販路拡大につなげられないものか。

仮にこの制度を取り組む場合、デメリットは非常に少ないと確信している。町の元気は町の基幹産業が活性化することで、盛り上がると思う。

平戸市のように過剰な取り組みになったとしても住民を守るために仕方ないと考える部分もある。

新発田市ではふるさと納税の特典として、月岡

温泉の金券を約8千万円予算化している。交流人口の増加や、観光産業を活性化させる良い方法と考える。農家や地場物産などと協力し、地域活性化に取り組みめないものか。

町長 ふるさとの味は、聖籠町の住民が食文化を創り上げてきた。今後の議論の中で、聖籠町ならではの魅力を情報発信し、また交流人口につながるよう対応していく必要がある。



▲ふるさと納税に活用できないか地元農産物

町主導で一方的にならないよう、さまざまな関係者、各団体などと協議のテーブルを設け、どう取り組むか議論を加速させ、年度内にできるものであれば実施に移せるように対応していく。

小学校教育環境の現地視察

総務文教



▲亀代小学校視察

1月23日、亀代小学校の教育環境について現地視察を行った。また2月16日、町の循環バスの運営状況について、担当課長から聞き取り調査を行った。

①亀代小学校の教育環境

教育目標「自分らしさを発揮し共に生きる子ども」「笑顔が輝きあう安全・安心の学校」等教育目標を掲げていた。

特に5年生の授業参観では、習熟度別学習や発達障がいの子への少人数教室等、きめ細かな学習体制の態度が感じられた。②循環バスの運営は平成25年10

月に新潟交通に4482万円で委託契約された。3路線の利用者合計は4万4418人との説明であった。

利用者内訳は高校生未満5%、高校生70%、高齢者20%、その他5%等である。今後乗車人数の増員拡大に、努力されることを望むものである。

あんなことや こんなことを 調 査 研 修 委員会報告

大夫興野 I C 工事視察

厚生産業



▲順調に進んでいる大夫興野 I C 工事

1月30日、平成27年度の転写概要調書と大夫興野 I C の現場視察を実施した。

町の農業再生協議会審議内容では、平成27年度の実作付面積は690・52ヘクタールと、平成26年度比面積換算値21・33ヘクタールの減となった。減反政策を全廃する国の方針も出される中で、農家が将来的に安心して農業をできる政策が望まれる。

現在、工事をしている大夫興野地内の国道7号線新バイパス I C 現状を視察した。現況の大夫興野 I C は、ハ

F I C のため蓮野 I C に交通が集中し、渋滞を原因とする新潟東港へのアクセス低下で利便性が損なわれている。計画時の総事業費は16億円で、平成30年度をめどにフル I C 化に向けて改良されると説明を受けた。今後、地域交通の利便性の向上が期待される。

第17回 追跡レポート その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成20年から25年の間に議会で審議・採択された請願・陳情は、請願が34件、陳情は46件ありました。その中でも、特に町民から提出され、私たちの生活に深くかかわる2件の陳情について、その後の状況を調査しましたので皆さんに報告します。

陳情 地区防災道路を整備してください

陳情名 藤寄集落下通り地区防災道路整備に関する陳情
提出者 藤寄副区長 遠藤博
議会採択年月日 平成20年9月22日

町道藤寄1号線



▲着工前のようす (平成26年3月上旬)

町道藤寄2号線

処理状況

用地買収・物件補償を完了
平成26年度に用地買収・物件補償を完了しました。

今後の計画

全線の道路工事を完了
平成25年度に道路改良工事、一部完了。平成26年度に残りの道路改良工事および全線の舗装工事を完了しました。



▲現在のようす (平成27年3月上旬)

陳情 生活道路の環境整備を
してください

陳情名 蓮濁居浦山地区道路環境整備の陳情書
提出者 蓮濁区長 森田春雄
議会採択年月日 平成24年12月13日

処理状況

平成26年度に(仮称)蓮濁居浦山線の用地測量・物件調査を実施しました。

今後の計画

平成27年度に(仮称)蓮濁居浦山線の用地買収を行う予定です。



▲現在のようす (平成27年3月上旬)

お知らせ

～ information ～

☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

6月18日(木)開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。どんな計画があり、どう進んでいるのか。あなたに身近なことかもしれないかもしれません。気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」のラジオ放送やインターネットでも聞くことができます。

都合で議場には来られない方も、ぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っています。



★表紙の写真★

「もうすぐ入場ドキドキワクワク
(亀代小学校 入学式)」

4月8日(木)、亀代小学校入学式。入場直前の新1年生、緊張と笑顔が交錯しています。

発行責任者

議長 須貝 龍夫

広報対策特別委員会

委員長	五十嵐利栄
副委員長	堀 常正
委員	宮沢 光子
	田村富美男
	田中 智之
	青木 順

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

いつでも旬なものが 食べられて幸せです



つたい のり
傳井 能理 さん
(山諏訪山)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
知人の紹介で知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？
公共施設がとて多く、大変住みやすいすてきな町だと感じました。

Q 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあつたらお聞かせください)
嫁ぎ先が農家なので、いつでも旬な物が食べられて幸せな半面、食べすぎには気をつけていきたいと思ひます!! (笑)

Q 町に望むことはありますか？
これからも、子どもや高齢者が安全・安心に暮らしていける町づくりをよろしくお願ひします!!

今回は、胎内市出身で平成27年1月に嫁いで来た 傳井能理(旧姓 桐生) さんです。

皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問ひませんので、お気軽に役場議会事務局 (TEL0254-27-1967) までご連絡ください。

3月議会で審議をするたびに「東日本大震災」を思い出し、4年前の3月11日午後2時46分、予算委員会の審議中に、あまり経験のない異常な揺れに役場庁舎内にいた全員が外に避難しました。皮肉にも質疑の項目は「消防・防災」でした。その後、日々、目と耳をふさぎたくなるような被害状況の報道に気持ちが重くなりました。あの頃、日本中が同じ思いで溢れていたのではないのでしょうか。あれから4年。死者、行方不明者合わせて約1万8千人の一人一人の無念さに思いをはせて、今を生きている者として、恥ずかしくない生き方をしなければと思ひます。聖籠町の財政の現状は、まだまだ厳しいものがあります。しかし、お金が全てではありません。こういう時こそ、知恵を使い、目先の事に振り回されず地に足をつけた「町づくり」をしなければと思ひます。

議会広報対策特別委員会
委員 宮沢 光子

編集後記

聖籠町議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。